

5 日程

| | | |
|-----------------------------|----------------|---------------------------------------|
| 8：50～9：20 | 受付 | 玄関 |
| 9：20～10：10 (小学部は10：05まで) | 公開授業 (小学部・中学部) | 小学部：各教室 中学部：運動場 (雨天時：体育館) |
| 10：20～11：10 | 公開授業 (高等部) | 各教室 |
| 11：20～11：50 | 全体会 | 体育館 |
| 11：50～13：20 | 昼食 ポスター発表 | 美術室・会議室 |
| 13：30～14：40 | 分科会 | 小学部：プレイルーム 中学部：ランチルーム 高等部：高等部教室 |
| 15：00～16：30 | 講演会 | 体育館 |
| 16：30 | 閉会 | |

6 講演

発達障がいのある児童・生徒の自尊感情を大切にしたい支援と授業
～こころの基盤を育て、支える～

小島 道生 氏 (岐阜大学教育学部准教授)

～概要～

発達障がいのある児童・生徒の支援においては、コミュニケーションスキルやソーシャルスキルな
どスキルを高めることは大切です。ただ、子どもへの支援は、スキル獲得にとどまるのではなく、適度
な自信を育て、自尊感情を低下させないことも求められます。特別支援教育の浸透とともに、教育現
場などでは様々な支援の工夫がなされていますが、子どものこころを大切にしたいアプローチも忘れて
はならないのではないのでしょうか。講演では、こころの基盤ともいえる自尊感情に焦点をあてて、支
援や授業での実践にもつながる報告をさせていただきます。

7 申込方法

参加申込は、郵便、FAX またはメールでお願いします。

申込用紙は本校ホームページよりダウンロードしてください。

申込期日 平成25年1月18日 (金)

問い合わせ及び申込先

和歌山大学教育学部附属特別支援学校 研究発表会事務局
〒641-0031 和歌山県和歌山市西小二里2丁目5番18号

TEL 073-444-1080 FAX 073-447-2597

Mail wft-kenkyu@center.wakayama-u.ac.jp

http://www.pal.wakayama-u.ac.jp

8 その他

(1) 資料代 当日、受付にて1,000円をお支払いください。

(2) 昼食 弁当をご希望の方は、申込用紙にて事前にお申し込みください。

弁当代は当日、受付にて1,000円をお支払いください。

(3) アクセス 本校へはホームページの地図、案内をご覧頂き、お越しください。

駐車スペースがありませんので、公共交通機関を使って御来場ください。

※この案内は、本校高等部印刷班の生徒が印刷しました。

平成24年度研究発表会 (2次案内)

「子どもの内面の育ちに 視点を当てた授業づくり」

ごあいさつ

初冬の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、平成23年度より2年間、「子どもの姿が見える」ことを
主軸に、児童生徒の内面の捉え方を探り、その内面に寄り添った教育につい
て検討し、児童生徒が生涯自分らしく生きていくことができるとともに今必要
なこととは何か、児童生徒一人一人のニーズに合わせた支援をめざした教育実践
研究に取り組んでまいりました。

この度、一連の研究成果をまとめ「子どもの内面の育ちに視点を当てた授
業づくり」をテーマとして、研究発表会を開催することとなりました。

ご多用のこととは存じますが、ぜひご参加いただきたき、皆様から、ご意見、
ご教示をいただければ幸いです。

和歌山大学教育学部附属特別支援学校長 赤松 純子

開催要項

- 1 主催 和歌山大学教育学部附属特別支援学校
- 2 後援 和歌山県教育委員会 和歌山市教育委員会
和歌山県特別支援学級設置校長会
- 3 期日 平成25年1月26日 (土)
- 4 会場 和歌山大学教育学部附属特別支援学校
〒641-0031 和歌山県和歌山市西小二里2丁目5番18号
TEL 073-444-1080 FAX 073-447-2597
http://www.pal.wakayama-u.ac.jp

和歌山大学教育学部附属特別支援学校 平成24年度研究発表会

平成25年1月26日（土）

「子どもの内面の育ちに視点を当てた授業づくり」

—小学部—

自信や意欲を高めていくことを大切にしている小学部では、児童の内面を探っていくことは、より適切なアプローチにつながり、指導に生かすことができる。子どもの内面が豊かになるために、授業を通してどんな力を育むのかについて検討してきた。各クラスの取り組みから、内面の育ちの捉え方やその授業づくりの在り方について報告する。

低学年の取り組み：『人との関わりを育む授業づくり』

—RDI「対人関係発達指導法」とそのアセスメントより—

実践報告者 辻本 憲伸、宮本万記子

中学年の取り組み：『児童の特性に合わせたiPadを使った授業』

実践報告者 浅井 敏雄、山田あゆみ

高学年の取り組み：『言動を振り返り、してみたいことを計画・実行する学級活動』

実践報告者 岡谷 憲子、金丸 真三

研究協力者 小野 次朗（和歌山大学教授）

古井 克憲（和歌山大学准教授）

助言者 津村 孝幸（県学校指導課特別支援班指導主事）

—中学部—

他者との関わりを広げていく時期である中学部段階において大切にしたい「内面」とは何かを探ってきた。実践から導き出したキーワードを出発点に、「集団と個」の視点からの整理や、それらに基づく更なる実践の積み重ねの中から「内面の育ち」に向けて明らかになってきた成果と課題について、『集団』『個（自己）』それぞれに焦点を当てた事例を踏まえながら報告する。

提案者 西本 一史

実践報告者 井上 泰馬（『集団』事例）、中原 隆彰（『個（自己）』事例）

司会者 岡 潔

研究協力者 江田 裕介（和歌山大学教授）

助言者 上村 弘幸（県学校指導課特別支援班指導主事）

各学部での取り組みについて、事例検討やグループセッション等を交えながら発表・意見交換を行います。

—高等部—

青年期を迎え、自分らしい生き方を考えていく時期にある高等部の生徒たちは、内面に多くの課題を抱えている。今回の研究では、生徒たちがどのような課題を抱えているのかを明らかにすることと共に、自己実現を支える指導の在り方を考える。そこで、「目的意識・自己決定」「自尊感情・不安」「自己理解・障害受容」の3つの観点に絞り事例研究を進めてきた。それぞれの観点が内面へのアプローチについて協議する。

グループ1（目的意識・自己決定）

実践報告者 保科由美子

司会者 有田 孝子

研究協力者 武田 鉄郎（和歌山大学教授）

山崎由可里（和歌山大学教授）

助言者 小山 武宏（県学校指導課特別支援班指導主事）

グループ2（自尊感情・不安）

実践報告者 松下 敦也

司会者 大久保義則

グループ3（自己理解・障害受容）

実践報告者 北岡 大輔

司会者 下町 秀之

本分科会では3グループに分かれて協議します。

講演

発達障がいのある児童・生徒の自尊感情を大切にしたい
～こころの基盤を育て、支える～



講師 小島 道生 氏
（岐阜大学教育学部准教授）

ポスター発表

本校の取り組みの紹介や
自主研究の報告などを行います。

公開授業

【小学部】

- 低学年 「生活」『ゲーム』
授業者：辻本憲伸 宮本万記子
場所：小学部低学年教室
- 中学年 ことば・かず
授業者：浅井敏雄、山田あゆみ
場所：小学部中学年教室
- 高学年 学級活動
授業者：岡谷憲子、金丸真三
場所：小学部高学年教室

【中学部】

- 全学年 保健体育『サッカー』
授業者：井上泰馬 中原隆彰 西本一史
場所：運動場（雨天時：体育館）

【高等部】

- 普通科1 グループ 「生活」『友だちバスケット』
授業者：谷重男 松下敦也
場所：1F教室
- 普通科2・3 グループ 「生活」『みんなでジャンプ』
授業者：下町秀之 保科由美子 辻岡麻起子 道上里砂
場所：3F教室
- 総合産業コース1・2年 セルフデザイン『お悩み相談室』
授業者：大塚誠子 増井健則
- 総合産業コース3年 セルフデザイン『My年表 in 和附特』
授業者：三木理恵子 有田孝子
場所：3S教室

小学部・中学部 9:20～10:10
高等部 10:20～11:10

分科会